

調査概要

- ◆ 調査の目的
 都内在住外国人の増加・多国籍化、長期滞在・定住傾向の進行、ならびに情報収集手段の多様化といった状況の変化を踏まえ、今後の在住外国人向け情報発信・情報提供に活用するため、外国人が行政情報や生活情報を収集する際に活用している情報収集チャンネルに関する調査を実施した。
- ◆ 調査対象者条件
 ・東京都在住外国人（国籍・地域別人口上位10か国・地域）
 ・出身国：中国・韓国・ベトナム・ネパール・フィリピン・ミャンマー・台湾・アメリカ・インド・インドネシア
 ・日本在住歴：10年以下
- ◆ 調査期間
 2025年12月8日（月）～12月20日（土）
- ◆ 調査手法
 インターネットモニターを対象とするウェブアンケート調査
- ◆ 回収結果
 2,000サンプル（10か国・地域出身者を以下の割合で抽出）

	中国	韓国	ベトナム	ネパール	フィリピン	ミャンマー	台湾	アメリカ	インド	インドネシア
該当人数	300	300	250	250	200	200	150	150	100	100

調査結果

日本で生活している中で知りたい情報の収集方法や言語

▶ **日本で生活している中で知りたい情報の収集方法**について聞くと、「WEBサイト」が42.7%で最も高く、次いで、「母語が日本語以外の家族や友だち、知人から聞く（40.8%）」、「母語が日本語の家族や友だち、知人から聞く（39.8%）」と続く。一番多いものでみても、最も高いのは「WEBサイト（14.5%）」となっている。

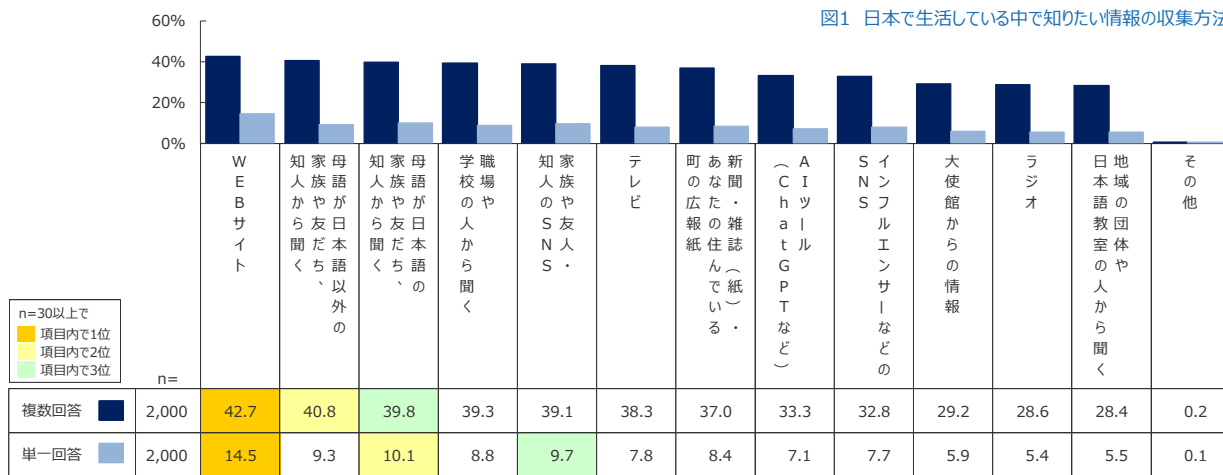


図2 WEBサイトで見ることが多い言語

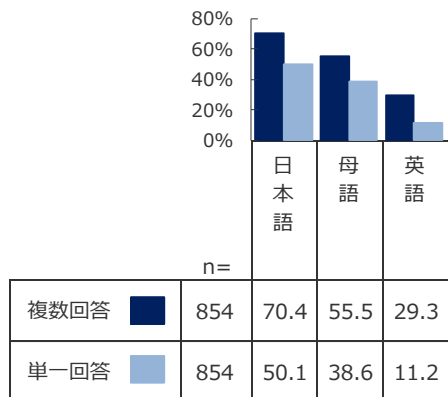


図3 母語以外のWEBサイトを見るとき自動翻訳使用有無

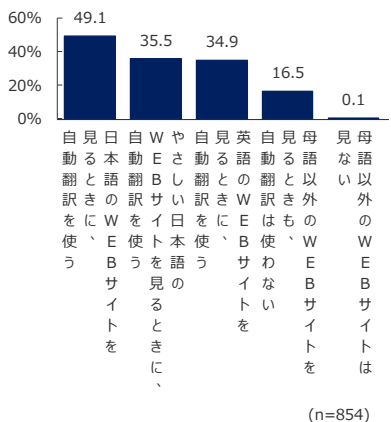
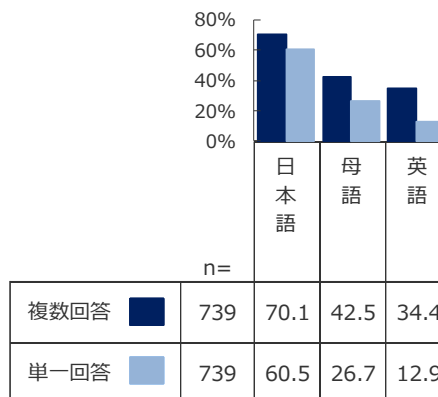


図4 新聞・雑誌（紙）・あなたの住んでいる町の広報紙で見ることが多い言語



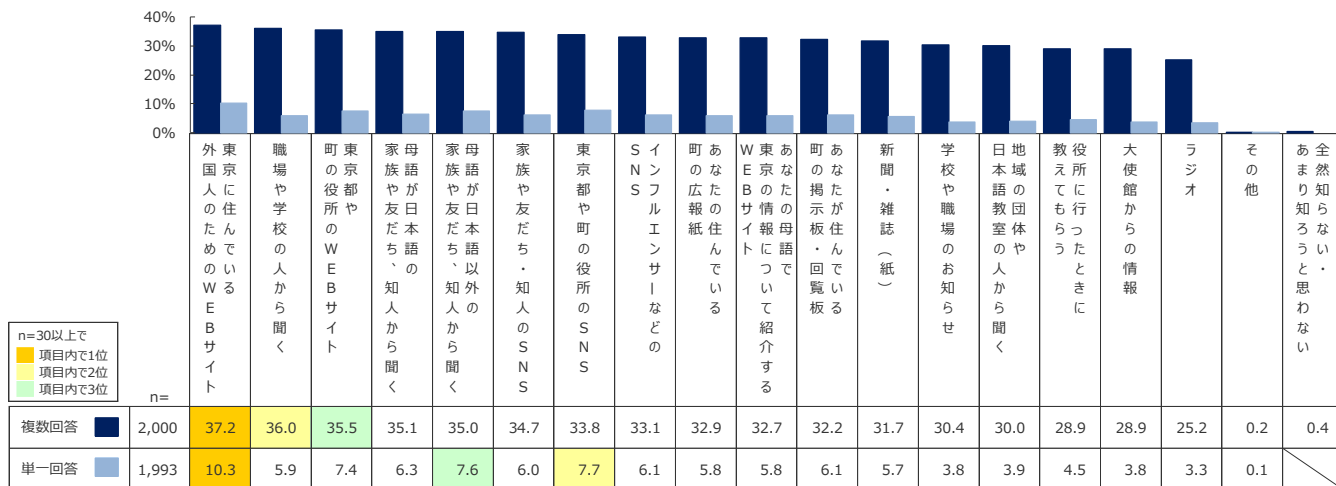
▶ **WEBサイトで情報を集めるときに見ることが多い言語**について聞くと、「日本語（70.4%）」が最も高く、次いで、「母語（55.5%）」、「英語（29.3%）」と続く。一番よく見る言語でみても、「日本語」が最も高く、5割を占めている。

▶ **母語以外のWEBサイトを見るとき自動翻訳使用有無**について聞くと、「母語以外のWEBサイトを見るときも、自動翻訳は使わない」は16.5%となっており、**8割以上の人は母語以外の言語でWEBサイトを見るときには自動翻訳を使っている**ことがわかる。特に、「日本語のWEBサイトを見るとき、自動翻訳を使う」の割合が高く、約5割を占めており、**およそ2人に1人が日本語のWEBサイトを見るときには自動翻訳を使用している**ことがわかる。

▶ **新聞・雑誌（紙）・あなたの住んでいる町の広報紙で情報を集めるときに見ることが多い言語**について聞くと、「日本語（70.1%）」が最も高く、次いで、「母語（42.5%）」、「英語（34.4%）」と続き、WEBサイトで情報を集めるときと同様の結果となっている。一番よく見る言語でみても、「日本語」が最も高くなっており、6割を占める結果となっている。



図5 東京都やあなたの住んでいる町の役所に関する情報の収集方法



東京都やあなたの住んでいる町の役所からの情報の収集方法について聞いたところ、「東京に住んでいる外国人のためのWEBサイト(37.2%)」がで最も高く、次いで「職場や学校の人から聞く(36.0%)」、「東京都や町の役所のWEBサイト(35.5%)」、「母語が日本語以外の家族や友だち、知人から聞く(35.0%)」と続く。一番多いものでみても、最も高いのは「東京に住んでいる外国人のためのWEBサイト(10.3%)」となっている。

地震や大雨・台風など災害に関する情報の収集方法について聞くと、「気象庁の情報を見る(39.0%)」が最も高く、次いで「NHKワールドJAPANの情報を見る(37.7%)」、「母語が日本語以外の家族や友だち、知人から聞く(36.4%)」、「Xで情報を見る(35.9%)」と続く。一番多いものでみても、最も高いのは「気象庁の情報を見る(9.5%)」となっている。

生活の中でトラブルや困ったことがあったときの対応について聞くと、「母語が日本語以外の家族や友だち、知人から聞く(45.1%)」が最も高く、次いで「母語が日本語以外の家族や友だち、知人から聞く(42.8%)」、「インターネットで調べる(40.5%)」と続く。

図6 災害に関する情報の収集方法

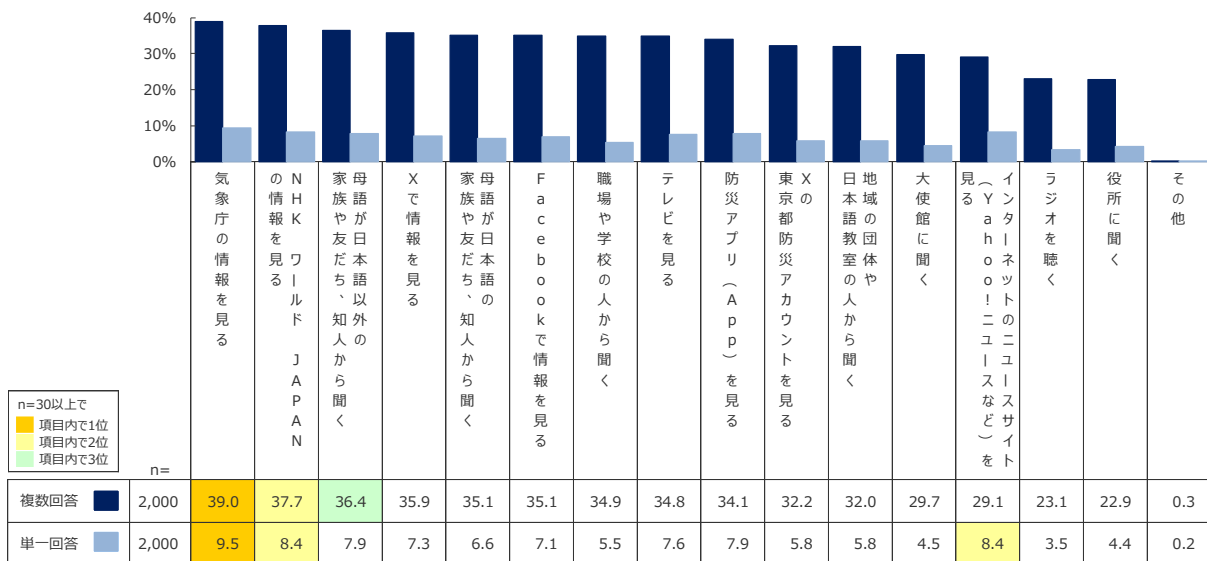
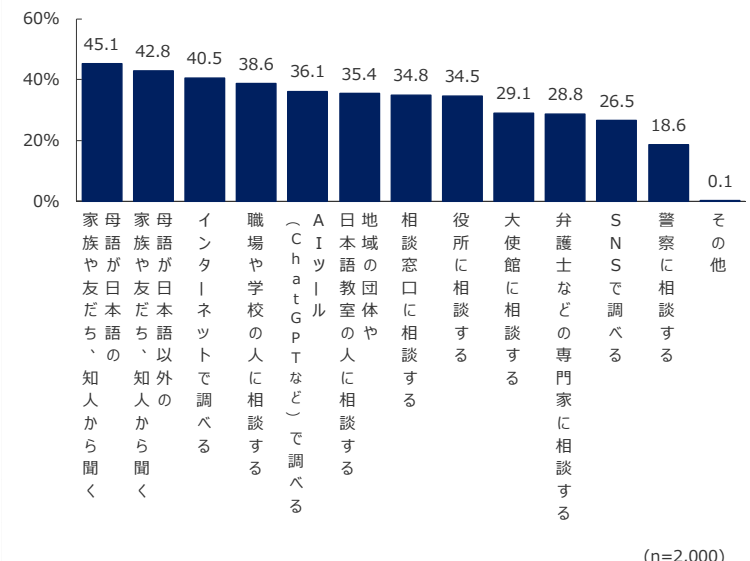


図7 生活の中でトラブルや困ったことがあったときの対応



(n=2,000)

図8 必要な情報を集めるときに困ったこと

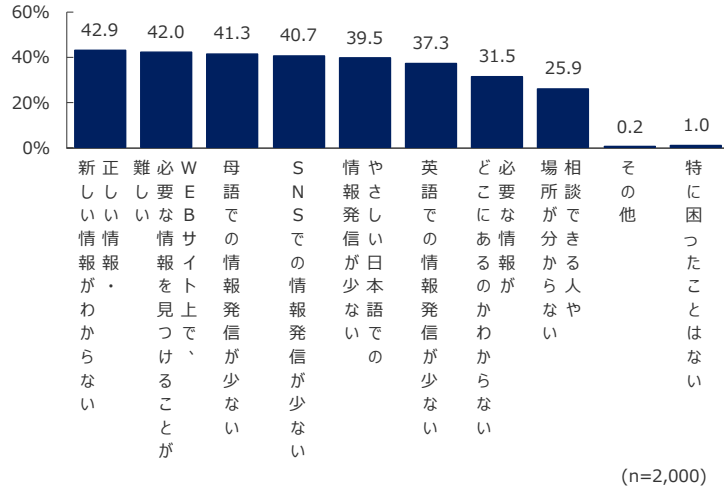
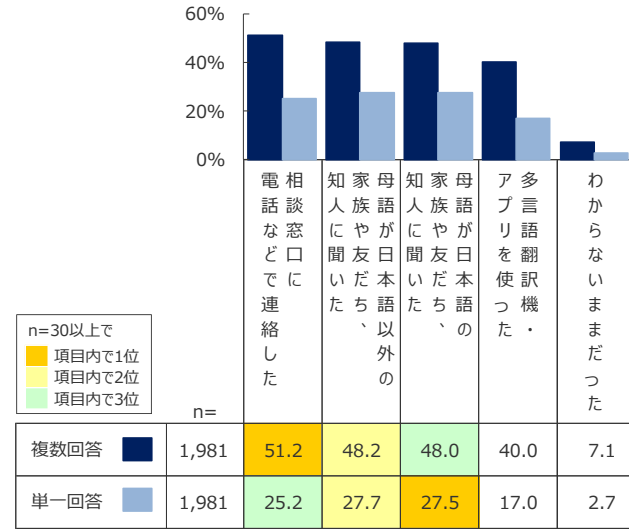


図9 情報を集めていて困ったときの対応



➢ 必要な情報を集めるときに困ったことについて聞くと、「正しい情報・新しい情報がわからない」「WEBサイト上で、必要な情報を見つけることが難しい」「母語での情報発信が少ない」「SNSでの情報発信が少ない」「やさしい日本語での情報発信が少ない」が約4割を占めている。

➢ 情報を集めていて困ったときの対応について聞くと、「相談窓口に電話などで連絡した (51.2%)」が5割を超えている。次に「母語が日本語以外の家族や友だち、知人に聞いた (48.2%)」、「母語が日本語の家族や友だち、知人に聞いた (48.0%)」と続く。一方、一番多くした対応では、「母語が日本語以外の家族や友だち、知人に聞いた (27.7%)」、「母語が日本語の家族や友だち、知人に聞いた (27.5%)」が「相談窓口に電話などで連絡した (25.2%)」よりも高くなっている。

図10 簡単だと思う問い合わせ方法

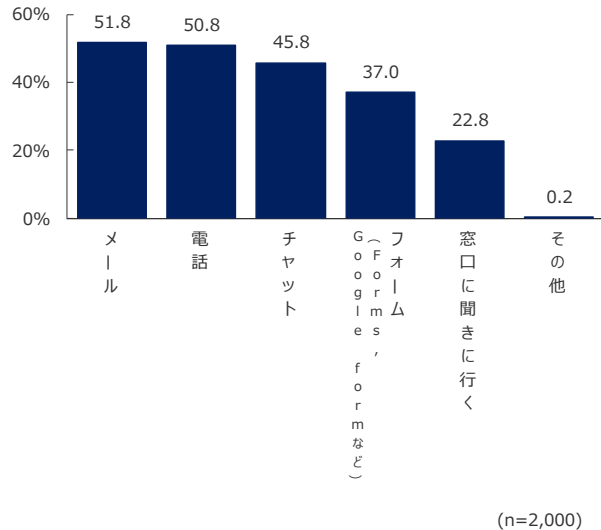
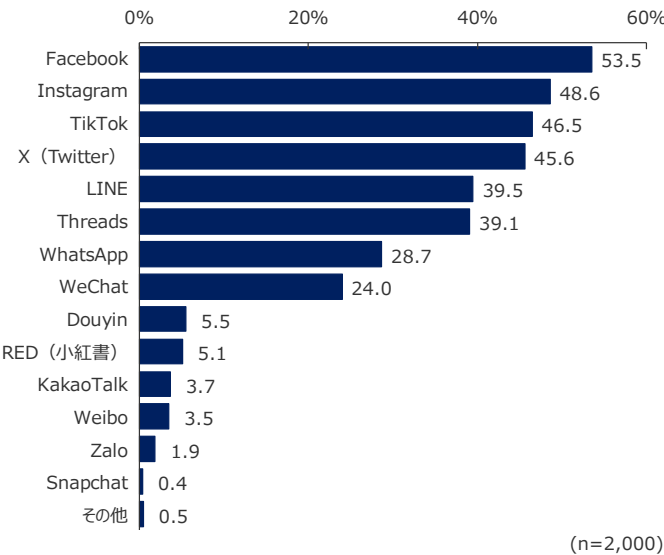


図11 日本で生活する中で 必要な情報を集めるときによく使うSNS



➢ 何かわからないことがあって問い合わせをしたい (詳しい話を聞きたい) とき簡単だと思う問い合わせ方法について聞くと、「メール (51.8%)」「電話 (50.8%)」が5割を超えている。次いで、「チャット (45.8%)」、「フォーム (37.0%)」と続く。「窓口に行きに行く」は22.8%に留まる。

➢ 日本で生活する中で必要な情報を集めるときによく使うSNSについて聞くと、「Facebook (53.5%)」が最も高く5割を超えている。次いで、「Instagram (48.6%)」、「TikTok (46.5%)」、「X(Twitter) (45.6%)」と続き、4割を超える。